

✿ 干布小学校だより

9月号 R3.9.27
天童市立干布小学校
校長 多勢 弘子

「いろり」から世界とつながる



「みなさんは、いろりを知っていますか。いろりのある学校は日本で干布小学校ぐらいかもしれません。」

—Irori Kitchen?

5年生が東京オリンピックを契機にオーストラリアのタスマニアの小学校とオンラインで交流をしています。9月8日の初日は、緊張しながらも一人ずつ英語で自己紹介をしました。



9月22日は学校紹介。すると子供たちは、いろりで昔の生活を紹介したいと大張り切り。校長室に「ドラム缶風呂」を紹介したいと持ち込み道具の相談に来ました。

そこで、質問をしました。「オーストラリアの家にお風呂ってあるのかなあ。」すると、「ないんですか？」とそろって驚きの声。

話をしながら、シャワーが主流ということに気づいて納得していました。

すると、「じゃ、温泉はないってこと？可哀そう。温泉いいのにな。入ったことないよね。」と鋭い指摘。

社会科の学習で輸入によって安く食料が手に入る一方、日本の農業はどうなのだろうということを考えさ

せています。これを通して実は外国が身近にあることや世界に目を向けることの大切さを感じ始めています。

しかし、子供たちは、いろりや着物は日本の文化だということを知っていても、まだまだ普段の生活の違い、ましてや考え方にも違いがあるということにまで、意識は広がっていません。

今後、交流を深める中で違いに気が付けば、温泉のような日本の良さに気づくことでしょう。次回にも期待です。



オーストラリアの小学生に教えてもらい、一緒にダンスを楽しみました。

アイデアと データ活用で つなぐ・つくる

9/30 長距離走記録会に向けて練習が始まりました。中間休みは全校児童がグラウンドに出て毎日練習です。そこで、密をさけるために健康委員会が考えたのは場所を3か所に分け、



さらに前・後半制にするというアイデアです。始めてみると、グラウンドをくまなく使って走っていて確かに分散しています。グラウンドは「丸く一周すべき」ということにとらわれない柔軟に考える力は今後役に立つでしょう。

そして、実行するために健康委員会のみなさんが、朝のうちにコーンを置いて白線をひき、中間休みはアナウンスで交代指示という役割を張り切って行っている姿にもとても頼もしさを感じます。

さて、教室では体育で計

測したタイムをタブレットに入力し、自動的にできるグラフをもとに自己の振り返りをしています。



(Google スプレッドシートを使用)

グラフを見て、意欲付けや練習方法の改善に役立っています。ICT教育では、データを収集し、分析する力を身につけることも重要としています。



主な行事予定

- 1日(金) 安全点検
- 4日(月) 6年史跡巡り②
- 5日(火) 朝会(後期代表委員会任命式) クラブ活動⑦
- 6日(水) 避難訓練
- 7日(木) わんぱく活動(弁当:給食なし) まいづる号
- 11日(月) 3年社会科見学(消防署) 委員会活動(学級)
- 12日(火) 朝会(表彰) クラブ活動⑧
- 13日(水) 視力検査(4~6年)
- 14日(木) 視力検査(1~3年)
5年リモート工場見学(トヨタ自動車)
- 23日(土) 学習発表会
- 25日(月) 23日(土)の振替休業日
- 26日(火) クラブ活動⑨
- 27日(水) 6年地層学習
- 28日(木) 代表委員会
- 29日(金) 委員会活動(11月計画)

※資源回収



専門業者が地区ごとに巡回します。雨天決行

9/30(木)原町

10/1(金)奈良沢、石倉

10/2(土)上荻野戸、片羽
出田原

※22日市音楽会は中止

3,4年生は弁当の準備をお願いします。

※23日学習発表会は無観客にて行います。発表の様子は後日ホームページから配信の予定です。

これからも感染状況による変更が予想されます。詳細については随時学校ホームページでお知らせしております。学校の様子も含め、ぜひご覧ください。
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

